

アバンセコーポ 比に人材教育会社設立

日系へ技術者派遣

現地大学と連携も

人材派遣業のアバンセコーポレーション(本社一宮市中町1の8の26、林隆春社長、電話0586・43・4511)は、フィリピン・ラグナ州に、日系企業向けの人材教育研修会社「AVANCE TECHNICAL EDUCATION CENTER」を設立した。一定の技術力をもった現地スタッフの確保が難しいことから、日系メーカーのニーズに合った人材を1年間かけて養成する。7日に開所式を行い、まず地元大学の卒業生20人ほどを受け入れ、工作機の操作や日本語の会話など教育訓練を開始する。人員や実習内容を順次、拡充して、人材紹介や人材派遣業務につなげていく考えだ。

(一宮・倉科信吾)



ラグナ州の工業団地 戦力となる技能を備え 成も課題となつてい 進出しているが、実技 には数百もの日系企業 た現地人材が少なく、 要請もあつて、現 地スタッフの教育 訓練事業に取り組 むことにした。同 国内にはすでに日 系人材派遣会社が

この現地法人は資本 金約1200万円で設 立。教育研修施設を工 業団地近くに開設し、 スタッフ3人でスター ンプに据え、各現場の

日本人の生産管理者や 熟練技術者を教育ス

さらには、日系企業の 学以外からも幅広く人 材を受け入れていく考 えたが、学生側は教育 研修費が必要になる ため、産学関係者が フィリピン政府に就業 訓練の助成制度活用を 働きかけている。

スタッフとして派遣して もらうなどして、各社 のニーズに添えてい く。 また、日本語教師を 採用し、コミュニケーション能力も養成。実 習と座学の両面から、 中間管理職や生産現場 のリーダーとなる人材 を養成する。

初年度は、まず現地 のAMA大学の卒業生 に射出成形の操作と加 工技術、品質管理手法 などを教える。アバン セと連携して、カリキ ヨラムに機械実習など 組み入れることも検討 している。 現地の大学も学生確 保のため就職支援に注 力しており、AMA大 がけていく方針だ。

所ビル

フィリピン教育訓練 施設が入居する事務